

ベトナムの潤滑油市場の動向

中川 良一

ベトナムの潤滑油市場はタイとインドネシアに次いで東南アジアで3番目に大きく、また、ベトナムは、一人あたりのGDPが3,000ドルに近づき、モータリゼーションがはじまろうとしています。今後も潤滑油の需要が増えると期待されています。

＜多数ある潤滑油ブランド＞

ベトナムでは潤滑油の銘柄が数多く見られます。TOTAL、SHELL、CASTROL、CALTEX、MOTUL など世界的に有名な欧米の石油会社のもの、PLC や AP SAIGON PETRO などベトナムメーカーの銘柄もあります。日本からも IDEMITSU 社及び JX Nippon Oil & Energy 社（ENEOS 銘柄）があり、現地で潤滑油の製造、販売を行っております。さらに HONDA、YAMAHA など日本の二輪車メーカーも現地で自社ブランドの潤滑油を OEM 生産しています。

現地の新聞報道によると、2016 年のベトナムの潤滑油市場は 2 億 6,400 万リットルで、用途別ではバイク用 34%、乗用車用 6%、トラック用 43%、工業用 17%と推測されています。CASTROL ブランドのシェアが最も高く、約 24%となっています。また潤滑油市場の年間伸び率は 6%と推定されています。

潤滑油の販売方法は、ガソリンスタンド、自動車メンテナンス工場、バイク修理店、通販などが窓口となり販売されています。特にバイク修理店は HONDA、YAMAHA 等のメーカー系列修理店がベトナム全土にあり、また、個人経営のバイク修理店も多数あります。バイク向けの潤滑油にとってこれらのバイク修理ショップが最も重要な販路となっています。

＜ベトナムの代表的な潤滑油メーカー＞

- ① PLC 社
ベトナム最大手の潤滑油メーカーです。ニャーバー潤滑油工場（ホーチミン市所在）及びトゥーンリー潤滑油工場（ハイフォン所在）の 2 つの潤滑油工場を有しています。それぞれの工場の潤滑油生産能力 5 万トン/年であり、多くの海外有名潤滑油ブランド（JX Nippon Oil、BP、SHELL 等）の OEM 生産実績があります。
- ② AP SAIGON PETRO 社
カットライ潤滑油工場（ベトナム南部のカットライ工業団地内に所在）に生産工場を持ち、生産能力 2.5 万トン/年

＜ベトナムに進出した日系の潤滑油工場＞

IDEMITSU 社及び JX Nippon Oil & Energy 社（ENEOS 銘柄）はいずれもベトナム北部ハイフォン市に潤滑油製造工場を保有しています。

- ① IDEMITSU 社の潤滑油工場：2014 年稼働。生産能力は 3,500 万リットル/年。
現地会社名：Idemitsu Lube ベトナム
- ② JX Nippon Oil & Energy 社の潤滑油工場：2013 年稼働。生産能力 4,000 万リットル/年。
現地会社名：JX NIPPON OIL & ENERGY ベトナム



【ENEOS 潤滑油のPR車】

＜欧米系のメーカーの現地潤滑油工場＞

- ① TOTAL：現地生産販売会社
Total Vietnam Limited - 略称 TVL
- ② BP Castrol：現地生産販売会社
Castrol BP Petco ベトナム
- ③ Shell：現地生産販売会社
Shell ベトナム
- ④ Caltex：現地生産販売会社
Chevron ベトナム
- ⑤ MOTUL：現地生産販売会社
潤滑油・化学品株式会社（略称 Vilube）

＜輸入販売される潤滑油ブランド＞

輸入販売されている潤滑油ブランドは次のものがあります。
AGIP（イタリア）、GS CALTEX（韓国）、SK Lubricants（韓国）、Blackgold（シンガポール）、Mobile（米国）

＜潤滑油販売価格（バイク用潤滑油）＞

- ① HONDA ブランド（IDEMITSU 社 OEM）
78,000 ドン（約 360 円）/800ml
- ② ENEOS ブランド 99,000 ドン（約 460 円）/1000ml
- ③ CASTROL ブランド 85,000 ドン（約 395 円）/800ml

また、日本の中小企業による、機械オイル（グリス）の調合工程と充填工程を伴う生産工場も進出されており、日本への輸出が始まっています。